

製品名: Fascin 1 ウサギ ポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10836**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	FSCN1
別名	FSCN1; FAN1; HSN; SNL; Fascin; 55 kDa actin-bundling protein; Singed-like protein; p55
遺伝子 ID	6624.0
SwissProt ID	Q16658
免疫原	抗血清はヒト FSCN1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

背景

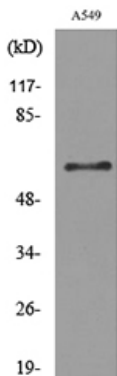
この遺伝子は、アクチン結合タンパク質であるファシンファミリーのメンバーをコードしています。ファシタンパク質は F-アクチ

ンを平行な束に組織化し、アクチンを基盤とした細胞突起の形成に必須です。コードされているタンパク質は、細胞の移動、運動性、接着、および細胞間相互作用において重要な役割を果たします。この遺伝子の発現はいくつかのマイクロ RNA によって制御されることが知られており、この遺伝子の過剰発現は細胞運動性を高めることで、複数の種類の癌の転移に影響を及ぼす可能性があります。この遺伝子の発現は、ホジキンリンパ腫におけるリード・シュテルンベルグ細胞のマーカーでもあります。この遺伝子の偽遺伝子は、15 番染色体長腕に位置しています。[RefSeq 提供、2011 年 9 月] 疾患: 乳癌の肺転移を特徴づけ、媒介します。FSCN1 は機能的に検証されていませんが、最も高い統計的有意性を示しています ($P < 0.000001$)。肺転移シグネチャーを発現する被験者は、発現しない被験者と比較して、無肺転移生存率が有意に低いものの、無骨転移生存率は低いままである。機能: アクチン線維を、アクチン/ファシン比が最低 4.1: 1 となるように束状に組織化する。おそらく、微小スパイク、膜ラッフル、ストレスファイバーに存在するアクチン線維束の組み立てに関与している。翻訳後修飾: Ser-39 のリン酸化は、ファシンのアクチン結合能を阻害する。類似性: ファシンファミリーに属する。サブユニット: β -カテニンと関連する。組織特異性: 普遍的。

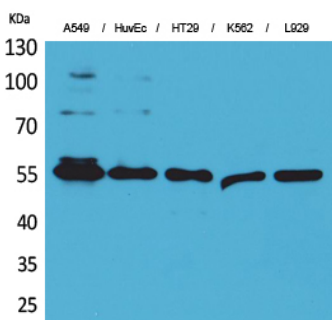
研究分野

細胞生物学

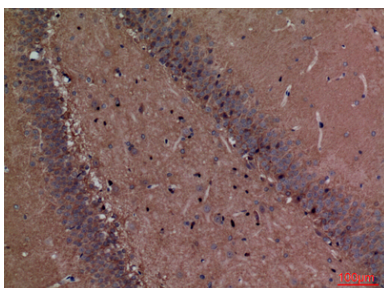
画像データ



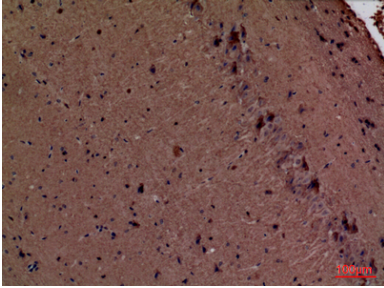
FSCN1 抗体を使用した A549 細胞の溶解液のウェスタン プロット分析。



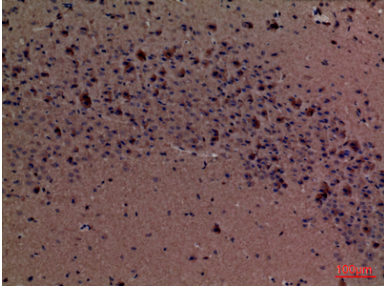
Fascin 1 ポリクローナル抗体を用いた A549、HuvEc、HT29、K562、L929 細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された